

## 令和4年度学校運営協議会（第2回） 議事録

日時 令和4年11月21日(月)18:00～

会場 岡本中学校特別活動室

進行：会長

記録：教務

### 1 あいさつ（会長）

### 2 学校の現状について（校長）

#### ○生徒の様子

- ・全体的に落ち着いた学校生活が送れている。しっかりと話す人の目を見て聞くことができ、笑顔であいさつができる。

#### ○学校行事

- ・修学旅行を3年ぶりに実施。規律ある行動・態度が素晴らしかった。
- ・体育祭では各クラスがよくまとまっていた。3年生のリーダーシップが光った。生徒と教員の仲がよいのがよく分かったと市長に褒められた。
- ・3学年そろっての文化活動発表会を3年ぶりに実施。

#### ○コロナ対応

- ・感染症予防対策を徹底しての授業、学校教育活動を継続していく。

#### ○課題

- ・スマホ、SNSでのトラブルが複数あった。家庭と連携した指導を継続していく。
- ・不登校生徒への支援として、別室登校・家庭訪問・教育相談など、個に応じた支援を充実させていく。

### 3 全国学力・学習状況調査結果について（校長）

- ・令和4年度調査結果の概要を報告。本校の平均正答数・平均正答率は全国・県の平均値と同程度であった。
- ・各教科の分析結果から見える課題を把握し、今後の授業改善につなげていく。

### 4 学校評価について（教頭）

- ・教育活動、学校運営について目指すべき目標を設定（学校教育目標）し、その達成状況や達成に向けた取組が適切かどうかについて、アンケートにより評価を行い、組織的・継続的な改善を図る。
- ・生徒、保護者、職員向けアンケートをそれぞれ12月にオンラインで実施する。

### 5 部活動の地域移行について（校長）

- ・令和4年6月にスポーツ庁から「運動部活動の地域移行に関する検討会議 提言」がとりまとめられ、中学校の休日に実施される運動部活動を、令和5年度から令和7年度末にかけて、段階的に地域に移行することが示された（後に文化庁からも文化部の活動も同様に地域に移行することが提示）。
- ・南足柄市では、11月に「南足柄市部活動の地域移行に関する関係者会議」を開催し、中学生の部活動を令和7年度末までに少しずつ地域に移行できるよう検討を開始し

た。

- ・ 今後は、中学生を対象とした休日のスポーツ教室等の実施を検討するなど、地域移行に向けた取組に段階的に取り組む。

## 6 今後の学校行事のあり方について（校長）

### ○体育祭の平日開催について

（検討案）将来的に平日開催を検討する。

（理 由）

- ・ これまで土日の各種大会に参加するため体育祭を欠席する生徒もいた。土日の部活動の地域移行化が検討されており、ますます土日の学校行事を配慮する必要がある。生徒全員が参加できるよう、平日開催を検討したい。
- ・ 保護者が参観しやすいという理由で休日開催としていたが、土日に勤務の保護者もある。文化活動発表会は平日開催で実施している。
- ・ 平日開催ならば給食対応が可能で、雨天順延しても影響がない。

### ○南足柄市総合防災訓練について

（方針案）令和5年度より学校行事としての生徒の参加とせず、自主防災組織防災訓練には地域の一員としての参加を促す。参加が可能となるよう部活動等の活動は設定しない。

（理 由）

- ・ コロナ対応により地区での受け入れが困難な状況が続いている。
- ・ 土日の部活動の地域移行化が検討されており、土日の学校行事を配慮する必要がある。

### ○朝会等における生徒の整列について

（方針案）「男女別・背の順」での整列を「男女混合・名簿順」にする。

（理 由）・ 人権、ジェンダー、LGBTQからの見直しを図る。

## 7 情報交換

- ・ 体育祭の平日開催には賛成である。生徒のための体育祭なので、全員が参加できる平日開催がよいと考える（複数）。
- ・ 体育祭を平日開催とすると給食対応となり、お弁当を準備しなくてよいとのことだが、親としてはお弁当をつくる楽しみもある。  
→予算の関係で給食回数が決まっている。年間のどこかで「お弁当の日」を設定することも検討していきたい。
- ・ 全国学力・学習状況調査について、県によって差はあるのか。  
→県によって若干の差はある。東京などの首都圏は幼稚園から私学受験をしたり、塾や予備校などが多数あったりするなど、文化の違いが背景にあるかもしれない。一方、秋田県など地方の県でも高い正答率をあげている県もある。
- ・ タブレット等のICTの導入状況はいかがか。  
→南足柄市では県内でも導入が早く、小学校の時から慣れているので、授業ではほぼ毎日活用している。効果的な使い方について研究を進めている。
- ・ 部活動が地域に移行すると、大会はどうなっていくのか。  
→まだ具体的な方向性は見えてこないが、当面は学校の部活動に所属している生徒は、これまでどおり学校チームとして参加できる。

- ・文化活動発表会は平日開催なのに弁当対応なのはなぜか。  
→これまでは昼の時間に地域ボランティアの方による体験講座を学年ローテーションで実施していたため、全校一斉給食とすることができなかった。
- ・ジェンダーを意識した名簿や整列はよいと思う。一方、名前だけでは男女の区別が分からず、困ることもあるのではないか。体育などは男女の体格の差もあり、配慮することも必要ではないか。  
→来年度から制服が新しくなり、男女ともネクタイ・リボン・スカート・ズボンなどを自由に選択できるようになる。ジェンダーの意識を高めるとともに、体育の授業や修学旅行の部屋割りなど、必要な配慮は丁寧に図っていく。
- ・学校ボランティアとして「短歌の会」に取り組んできたが、コロナ対応で一旦途切れてしまった。今後、少しずつ取組を復活させていきたい。絵本の読み聞かせなども計画していきたい。  
→本校にはたくさんの地域ボランティアが関わってくださっていることに感謝している。コロナの状況を鑑みながら、地域ボランティアによる体験教室など、少しずつ取組を復活させていきたい。

## 8 閉会の言葉（会長）

※ 次回（第3回）は、令和5年3月14日（火）15：00～開催予定